



## 2020年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2019年10月31日

上場会社名 日本製罐株式会社

上場取引所 東

コード番号 5905 URL <http://www.nihonseikan.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 馬場 敬太郎

問合せ先責任者 (役職名) 取締役経営企画部長 (氏名) 日野 剛健

TEL 048-665-1260

四半期報告書提出予定日 2019年11月12日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2020年3月期第2四半期の連結業績(2019年4月1日～2019年9月30日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第2四半期	5,023	△4.5	△17	—	10	△89.4	2	△95.4
2019年3月期第2四半期	5,260	4.1	77	—	94	—	61	△23.1

(注)包括利益 2020年3月期第2四半期 121百万円 (55.4%) 2019年3月期第2四半期 78百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期第2四半期	2.09	2.05
2019年3月期第2四半期	45.42	44.66

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2020年3月期第2四半期	13,251	5,522	35.6
2019年3月期	13,850	5,440	33.4

(参考)自己資本 2020年3月期第2四半期 4,712百万円 2019年3月期 4,630百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年3月期	—	0.00	—	30.00	30.00
2020年3月期	—	0.00	—	—	—
2020年3月期(予想)	—	—	—	30.00	30.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 2020年3月期の連結業績予想(2019年4月1日～2020年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	10,585	2.7	158	159.0	190	△6.4	125	1.6	92.29

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
 新規 — 社 (社名) 、 除外 — 社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注)詳細は、添付資料P. 8「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(3)四半期連結財務諸表に関する注記事項(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

2020年3月期2Q	1,392,000 株	2019年3月期	1,392,000 株
2020年3月期2Q	32,742 株	2019年3月期	43,442 株
2020年3月期2Q	1,354,672 株	2019年3月期2Q	1,359,158 株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	8
(追加情報等)	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

以下の経営成績、財政状態に関する説明については、「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(追加情報)」に記載のとおり、組替え後の前第2四半期連結累計期間及び前連結会計年度の四半期連結財務諸表及び連結財務諸表の数値を用いて説明しております。

## (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、輸出を中心に弱さが長引いているものの、個人消費の持ち直し、設備投資の緩やかな増加、雇用・所得環境の改善が続く中、各種政策の効果もあり、緩やかな回復が期待されております。

しかしながら、当社グループの需要分野では、ゴールデンウィークやお盆休みによる稼働日の減、台風等の天候不順による食糧・飲料の需要減、運転手不足による配送手配の問題、通商問題を巡る緊張等により、受注が落ち込みました。

このような中、当社グループ(当社及び連結子会社)の当第2四半期連結累計期間の売上高は、5,023百万円(前年同期比4.5%減)、営業損失は17百万円(前年同期は77百万円の営業利益)、経常利益は10百万円(前年同期比89.4%減)、親会社株主に帰属する四半期純利益は2百万円(前年同期比95.4%減)となりました。

セグメントの概況は次のとおりです。

## ①金属缶製造販売事業

製品別売上高

(単位:百万円、%)

	前年同四半期		当第2四半期		前年同四半期比	
	金額	構成比	金額	構成比	金額	増減率
18L	3,566	68.9	3,510	71.0	△56	△1.6
美術缶	1,337	25.8	1,204	24.4	△133	△10.0
その他	275	5.3	227	4.6	△47	△17.3
計	5,180	100	4,943	100	△237	△4.6

金属缶製造販売事業の売上高は4,943百万円(前年同期比4.6%減)、営業損失は59百万円(前年同期は36百万円の営業利益)となりました。

## ②不動産賃貸事業

不動産賃貸事業の売上高は80百万円(前年同期比1.1%増)、営業利益は41百万円(前年同期比0.9%増)となりました。

## (2) 財政状態に関する説明

## (資産)

当第2四半期連結会計期間末における流動資産は5,234百万円となり、前連結会計年度末に比べ668百万円減少いたしました。これは主に現金及び預金が37百万円増加し、受取手形及び売掛金が199百万円、電子記録債権が500百万円減少したことによるものであります。固定資産は8,017百万円となり、前連結会計年度末に比べ69百万円増加いたしました。これは主に有形固定資産が123百万円減少し、無形固定資産が113百万円、投資その他の資産が79百万円増加したことによるものであります。

この結果、総資産は13,251百万円となり、前連結会計年度末に比べ598百万円減少いたしました。

## (負債)

当第2四半期連結会計期間末における流動負債は4,288百万円となり、前連結会計年度末に比べ603百万円減少いたしました。これは主に支払手形及び買掛金が312百万円、短期借入金が20百万円、未払法人税等が62百万円、未払事業所税が9百万円、設備関係支払手形が56百万円減少したことによるものであります。固定負債は3,440百万円となり、前連結会計年度末に比べ76百万円減少いたしました。これは主に長期借入金が171百万円減少し、繰延税金負債が71百万円、退職給付に係る負債が23百万円増加したことによるものであります。

この結果、負債合計は7,729百万円となり、前連結会計年度末に比べ680百万円減少いたしました。

## (純資産)

当第2四半期連結会計期間末における純資産合計は、5,522百万円となり、前連結会計年度末に比べ81百万円増加いたしました。これは主にその他有価証券評価差額金が107百万円増加したことによるものであります。

この結果、自己資本比率は35.6%(前連結会計年度末は33.4%)となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、2019年5月7日の「2019年3月期 決算短信」で公表いたしました通期の連結業績予想に変更はありません。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位:千円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2019年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	365,421	403,070
受取手形及び売掛金	2,473,726	2,273,735
電子記録債権	2,091,193	1,591,111
商品及び製品	122,600	130,641
仕掛品	119,036	115,721
原材料及び貯蔵品	683,277	678,421
その他	48,184	42,619
貸倒引当金	△824	△774
流動資産合計	5,902,615	5,234,546
固定資産		
有形固定資産		
建物	6,994,783	6,997,444
減価償却累計額	△4,532,088	△4,606,354
建物(純額)	2,462,694	2,391,090
構築物	421,894	421,894
減価償却累計額	△362,023	△366,038
構築物(純額)	59,871	55,855
機械及び装置	8,510,117	8,465,527
減価償却累計額	△7,599,153	△7,628,733
機械及び装置(純額)	910,963	836,794
車両運搬具	49,031	42,623
減価償却累計額	△49,031	△42,623
車両運搬具(純額)	0	0
土地	972,170	972,170
リース資産	8,880	8,880
減価償却累計額	△4,995	△5,550
リース資産(純額)	3,885	3,330
建設仮勘定	28,473	59,734
その他	666,162	672,127
減価償却累計額	△610,263	△620,444
その他(純額)	55,898	51,683
有形固定資産合計	4,493,957	4,370,659
無形固定資産		
ソフトウェア	72,302	63,615
ソフトウェア仮勘定	52,745	176,895
のれん	8,937	6,951
その他	1,923	1,923
無形固定資産合計	135,908	249,385
投資その他の資産		
投資有価証券	3,285,022	3,366,473
その他	32,875	30,650
投資その他の資産合計	3,317,897	3,397,124
固定資産合計	7,947,763	8,017,169
資産合計	13,850,379	13,251,715

(単位:千円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2019年9月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	3,252,516	2,939,838
短期借入金	20,000	—
1年内返済予定の長期借入金	972,325	953,688
未払法人税等	65,900	3,886
未払事業所税	18,447	9,223
賞与引当金	70,414	68,301
リース債務	1,198	1,198
設備関係支払手形	133,870	77,387
その他	357,485	234,824
流動負債合計	4,892,157	4,288,347
固定負債		
長期借入金	2,339,694	2,168,686
リース債務	2,997	2,397
繰延税金負債	968,813	1,039,928
退職給付に係る負債	139,785	163,768
役員退職慰労引当金	11,682	11,682
資産除去債務	14,434	14,484
その他	39,875	39,875
固定負債合計	3,517,281	3,440,821
負債合計	8,409,438	7,729,169
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	738,599	738,599
資本剰余金	245,373	245,373
利益剰余金	1,836,243	1,798,226
自己株式	△50,326	△38,096
株主資本合計	2,769,889	2,744,102
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,860,762	1,968,497
その他の包括利益累計額合計	1,860,762	1,968,497
新株予約権	38,455	26,786
非支配株主持分	771,833	783,161
純資産合計	5,440,940	5,522,546
負債純資産合計	13,850,379	13,251,715

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2018年4月1日 至2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年9月30日)
売上高	5,260,097	5,023,835
売上原価	4,512,152	4,399,803
売上総利益	747,944	624,031
販売費及び一般管理費		
従業員給料及び手当	148,279	142,991
役員報酬	61,992	47,969
株式報酬費用	3,219	—
賞与引当金繰入額	20,152	17,721
運賃及び荷造費	253,887	254,390
支払手数料	44,433	46,740
減価償却費	18,308	16,968
のれん償却額	1,986	1,986
その他	118,406	113,139
販売費及び一般管理費合計	670,666	641,905
営業利益又は営業損失(△)	77,278	△17,873
営業外収益		
受取配当金	28,381	29,062
その他	6,214	13,221
営業外収益合計	34,595	42,284
営業外費用		
支払利息	14,235	12,165
その他	2,795	2,220
営業外費用合計	17,031	14,385
経常利益	94,843	10,025
特別利益		
固定資産売却益	114	—
投資有価証券売却益	—	55,070
特別利益合計	114	55,070
特別損失		
固定資産除却損	—	1,076
投資有価証券売却損	—	54,075
特別損失合計	—	55,152
税金等調整前四半期純利益	94,957	9,944
法人税等	30,398	△530
四半期純利益	64,558	10,474
非支配株主に帰属する四半期純利益	2,825	7,647
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	61,733	2,827



(四半期連結包括利益計算書)  
 (第2四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)
四半期純利益	64,558	10,474
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	13,868	111,414
その他の包括利益合計	13,868	111,414
四半期包括利益	78,427	121,889
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	77,103	110,562
非支配株主に係る四半期包括利益	1,323	11,327

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

税金費用については、当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実行税率を合理的に見積もり、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(追加情報)

(表示方法の変更)

①不動産賃貸事業に関する変更

当社の不動産賃貸事業について、従来、不動産賃貸収入は営業外収益、不動産賃貸費用は営業外費用、賃貸不動産は投資その他の資産に計上しておりましたが、第1四半期連結会計期間からそれぞれ売上高、売上原価及び有形固定資産に計上する方法に変更いたしました。

この変更は、当社において不動産賃貸事業を主要な事業の一つとして位置づけ、事業運営の実態をより適切に表示するために行ったものであります。

この表示方法の変更を反映させるため、前第2四半期連結累計期間及び前連結会計年度については、四半期連結財務諸表及び連結財務諸表の組替えを行っております。

この結果、前連結会計年度における連結貸借対照表の「投資その他の資産」の「賃貸不動産（純額）」723,895千円を「有形固定資産」の「建物（純額）」642,093千円、「構築物（純額）」22,207千円、「土地」56,939千円、「その他（純額）」2,655千円に振替えております。

また、前第2四半期連結累計期間における四半期連結損益計算書の「営業外収益」の「不動産賃貸料」79,811千円を「売上高」に、「販売費及び一般管理費」の「その他」3,779千円、「営業外費用」の「不動産賃貸費用」14,622千円、「賃貸建物減価償却費」20,440千円を「売上原価」に振替えております。

②棚卸資産の区分に関する変更

従来、仕掛品として計上しておりました印刷済大板について現在は外注先で印刷が行われて入荷されるため、第1四半期連結会計期間から原材料に計上する方法に変更いたしました。

この表示方法の変更を反映させるため、前連結会計年度については、連結財務諸表の組替えを行っております。

この結果、前連結会計年度における連結貸借対照表の「流動資産」の「仕掛品」251,933千円を「流動資産」の「原材料及び貯蔵品」に振替えております。